

第2回 東日本クラブセブンス2011



2011.6.26 駒沢オリンピック公園 補助競技場

	北海道バーバリアンズ	神奈川タマリバクラブ	マンダラ東京	オール茨城	順位決定戦	最終順
北海道バーバリアンズ		● 7-43	○ 54- 0	○ 41- 0	○ 33- 5	1
神奈川タマリバクラブ	○ 43- 7		○ 40- 7	○ 54- 0	● 5-33	2
マンダラ東京	● 0-54	● 7-40		○ 17-12	○ 34-19	3
オール茨城	● 0-41	● 0-54	● 12-17		● 19-34	4



神奈川タマリバクラブとの試合



マンダラ東京との試合

第2回東日本クラブセブン 試合結果

2011年6月26日 駒沢補助競技場

試合	種別	K.O	対戦		
1	学生予選リーグ戦(プールⅠ)	9:30	早大GW	7 - 12	くるみA
2	学生予選リーグ戦(プールⅡ)	9:48	法政FRB	0 - 21	ドラゴンズバーシティ
3	学生予選リーグ戦(プールⅢ)	10:06	こんぷA	17 - 12	くるみB
4	学生予選リーグ戦(プールⅣ)	10:24	慶大BYB	34 - 7	こんぷB
5	社会人予選リーグ戦	10:42	北海道バーバリアン	7 - 43	タマリバ
6	社会人予選リーグ戦	11:00	マンダラ東京	17 - 12	オール茨城
7	学生予選リーグ戦(プールⅠ)	11:18	法政工学部	0 - 35	早大GW
8	学生予選リーグ戦(プールⅡ)	11:36	中大BW	31 - 14	法政FRB
9	学生予選リーグ戦(プールⅢ)	11:54	明大MRC	12 - 7	こんぷA
10	学生予選リーグ戦(プールⅣ)	12:12	リスの会	14 - 40	慶大BYB
11	社会人予選リーグ戦	12:30	北海道バーバリアン	54 - 0	マンダラ東京
12	社会人予選リーグ戦	12:48	タマリバ	54 - 0	オール茨城
13	学生予選リーグ戦(プールⅠ)	13:06	くるみA	19 - 14	法政工学部
14	学生予選リーグ戦(プールⅡ)	13:24	ドラゴンズバーシティ	7 - 26	中大BW
15	学生予選リーグ戦(プールⅢ)	13:42	くるみB	12 - 12	明大MRC
16	学生予選リーグ戦(プールⅣ)	14:00	こんぷB	29 - 5	リスの会
17	社会人予選リーグ戦	14:18	マンダラ東京	7 - 40	タマリバ
18	社会人予選リーグ線	14:36	オール茨城	0 - 41	北海道バーバリアン
19	学生決勝トーナメント・1回戦	14:54	くるみA	17 - 21	中大BW
20	学生決勝トーナメント・1回戦	15:12	明大MRC	14 - 15	慶大BYB
21	社会人・順位戦(1位-2位)	15:30	タマリバ	5 - 35	北海道バーバリアン
22	学生決勝トーナメント・決勝戦	15:48	中大BW	0 - 31	慶大BYB
23	社会人・順位戦(3位-4位)	16:06	マンダラ東京	34 - 19	オール茨城
24	社会人・学生 交流戦	16:30	学生選抜	0 - 33	タマリバ

※試合時間は、全て7分ハーフ

第2回東日本クラブセブンズ2011実施要項

1. 名称 第2回東日本クラブセブンズ2011
2. 主催 関東ラグビーフットボール協会
3. 主管 東京都ラグビーフットボール協会、
4. 日程 2011年6月26日(日)
5. 場所 駒沢補助競技場 * 田園都市線 駒沢大学駅下車・徒歩10分
6. 出場チーム
社会人クラブ・学生クラブ、大学、企業、都道府県選抜、合同チーム他
7. 試合方法
 - ・一般の部(社会人クラブ・大学・企業・都道府県選抜・社会人合同)
6~8チーム
 - ・学生クラブの部(学生クラブ・学生クラブ合同)
12チーム
 - ・一般の部優勝チームと学生クラブの部選抜チームとの交流試合◎選抜チーム・合同チームに関わらず、単独チームにおいても、日本ラグビー協会に競技者個人登録をしている選手の個人参加(応援選手)を認める。
8. 参加資格
2011年6月1日付けで、各都道府県ラグビーフットボール協会にチーム登録されていること。
※都道府県選抜チーム、合同チームはチーム登録の必要はありません。
9. 選手資格
 - (1)本大会の選手資格は、財団法人日本ラグビーフットボール協会「日本協会規約」及び、その他の施行細則に抵触しない者とする他、以下の特則に服する。
 - (2)選手は満18歳以上の者とし、高等学校在学中(定時制を含む)の者の参加は認めない。
 - (3)2011年6月1日付までに(財)日本ラグビーフットボール協会へ「個人登録」を完了した者に限る。
 - (4)他のチームとの二重登録は認めない。
 - (5)財団法人スポーツ安全協会の「スポーツ安全保険」に加入していること。
 - (6)その他、選手資格に疑義がある場合には、関東ラグビーフットボール協会に於いて裁定する。
 - (7)各チームは選手兼任でない「チーム競技委員」を1名選出すること。この者が中心となって大会運営を行なう。
10. 競技規則
 - (1)平成22年度(財)日本ラグビーフットボール協会制定の「競技規則」<7人制競技規則>による。
 - (2)試合時間は7分ハーフ(ハーフタイム1分以内)とし、決勝戦のみ10分ハーフとする。
 - (3)同点の場合には以下の方法で上位進出権を決める。
 - ①トライ数の多いチーム。
 - ②トライ数が同じ場合には、トライ後のゴール数の多いチーム。
 - ③上記で決定できない場合には抽選による。なお、決勝戦については、5分以内の延長戦を実施し、それでも勝敗が決まらない場合には双方を優勝とする。
11. 罰則
 - (1)参加資格を偽った者、選手資格のない者が出場した場合、また大会申込後棄権したチーム(試合当日の人数不足を含む)はその時点で失格とし、本年度の全ての公式大会への出場を認めない。
 - (2)その他、スポーツマンシップに反する行為があった場合にも前項に準じる。
 - (3)参加チームは、その所属するチームの応援団の行為についても責任を負うものとする。
 - (4)本大会で生じた不規律については、チームないし選手に告知聴聞の機会を与えた上で、大会規律委員会で処分を決する。

12. 費用

- (1)大会参加料＝20,000円
- (2)試合中に発生した負傷等の医療費は、各チームの負担とする。

13. 出場手続きと問い合わせ先

上記出場チームは所定の出場申込書と選手登録用紙を作成し、**6月10日(金)(必着)**までに以下のあて先までメールにて送付する。なお、**関東協会事務局では問い合わせに対応していないので、かならず下記担当者まで問い合わせること。**

関東協会クラブ委員会 東日本クラブセブン運営担当 門田庄之助
monta@s00.itscom.net 044-856-9162、090-5344-2885

<参加上の諸注意>

1. 大会実施細則

- (1) 大会は16チームの表(チャンピオンシップ)－裏(コンソレーション)方式とする。(出場チーム数によって変更する場合がある。)
- (2) 事前に22名以内で選手登録を行なう。(当日の変更可)
- (3) 当日の試合ごとの登録選手は12名以内とし、その中から選手の交替／入替へは3名以内とする。(7人制競技規則による)
- (4) 選手の交替(負傷交替、入替え、出血の一時的交替)は、必ずチームの交替指示者から本部席の競技役員に告げ、レフリーの許可を得て入退出すること。
- (5) 第1試合の30分前に、当日の登録選手全員(1～22番)のドレスチェックを行う。ドレスチェックを経た上で、選手は終日同一の背番号のジャージを着用する。
- (6) 自チームの前の試合のキックオフ時(おおよそ18分前)に、両チームの①その試合への上場選手全員、②交替指示者、③タッチジャッジ、④インゴールジャッジ、⑤メディカルサポーターは、本部席に集合すること。この時にメンバー表を提出する。この時点で到着していない選手を「メンバー表」に記入することはできない。
- (7) **出場選手全員は、統一されたジャージ、パンツ、ソックスを着用しなければならない。**
- (8) その他、服装規定に違反した選手は出場できない。
- (9) 各チームは二組以上のジャージ(1st、2nd)を持参し、各試合では1番から22番までの背番号のついた統一されたジャージを使用すること
- (10) 背番号を縫い付けた場合には、四隅だけでなくしっかりとジャージに縫い付けて、試合中取れないようにすること。また、縫い付けとプリントの混在は認めない。
- (11) パンツのスリットライン、ソックスの折り返しの不統一は認めない。
- (12) サポーター類を着用する場合にはパンツと同色の物または、白・紺・黒に限る。
- (13) **ヘッドギア、ショルダーパットに色規制はないが、<IRBマーク>の付いたもの以外は着用できない。**ドレスチェックは型番などではなく、IRBマークの有無だけで判断を行う。
- (14) ジャージの袖丈より長いアンダーウエアを着用する場合は、白・紺・黒の色に限る。
- (15) プレードタイプ(波型)のスパイクは着用できない。

2. ラグビーマナー

- (1) 参加選手は全国のラグーマンの代表として相応しい服装、身だしなみを心がけ、以下の着こなしを遵守すること。
 - ・ ソックスはきちんと上げる。試合中ずり落ちないようにテープ等できちんと止めること。
 - ・ パンツの上に出たジャージは、常に注意してパンツの中に入れる。
 - ・ ジャージのエリを内側へ折り込まない。ラグビーはエリのあるスポーツである。
 - ・ ジャージのソデを極端にたくし上げたり、テープで止めたりしない。
 - ・ 試合会場への往復はスーツまたはブレザー着用にて臨むこと。
- (2) タッチジャッジ及びインゴールジャッジはジャージ、パンツ、ソックス、スパイクを着用して任務を遂行すること。
- (3) 水係り、ボール係りはスタッフとして動きやすく、ふさわしい服装をすること
- (4) 更衣は定められた場所で行い、また、ロッカーエリア外には裸体で出てはならない。更衣室の後始末は、各チームで責任を持ってきちんと行ない、たとえ自チームが汚したものでない場合でも清掃に努めて頂きたい。
- (5) 会場内は、グラウンド、更衣室、交歓会会場、その周辺区域を含めて全面禁煙とする。